

保育所等訪問支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぺんぎんはうす		
○保護者評価実施期間	2025年1月4日		2025年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年2月11日		2025年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	2025年2月21日		2025年3月7日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7	(回答数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育のことを熟知している元小中学校教員が訪問支援員として訪問支援している。 ・ほとんどの訪問先が、訪問支援員が教員在職中に勤務または自身の子が在籍した学校である。 ・元学校の教員の強みを生かし、学校との情報交換などの連携が充分とれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校長、特別支援コーディネーター、学年主任、担任などと話をし、情報共有してより良い支援につなげている。 ・訪問開始までに数度学校を訪問し、学校の意向を伺うとともに支援の内容について調整、説明を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的なアセスメントの活用
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援を実施している児童のほとんどが、同時に放課後等デイサービスを利用しているため、訪問支援員は児童の放デイ、学校の様子を共に知ることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子を保護者に伝えるだけでなく、個々の子どもの特性、課題軽減に応じた支援を放デイでおこなうようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関とのカンファレンスの時間がもてるとより連携が深まる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に一度の頻度で保護者会を実施し、講師の講演、保護者間の情報交換の場としている。 ・公認心理師、特別支援教育士、キャリアコンサルタント、社会福祉士などの専門職員による家族支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぺんぎんるーむ・ぺんぎんはうす合同の保護者会に、保育所等訪問支援利用の保護者にも参加を促している。 ・保護者相談を面談を定期的、または必要に応じて随時実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にアンケートをとって保護者のニーズに合わせて保護者会の内容の充実する。